

ASA を介した AnyConnect Web セキュリティの導入

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ASA を通じた AnyConnect Web セキュリティの導入](#)

[確認](#)

[Anyconnect バージョンのアップグレード/ダウングレード](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス (ASA) で終端するクライアントベースの VPN への AnyConnect Web セキュリティ モジュールの導入について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

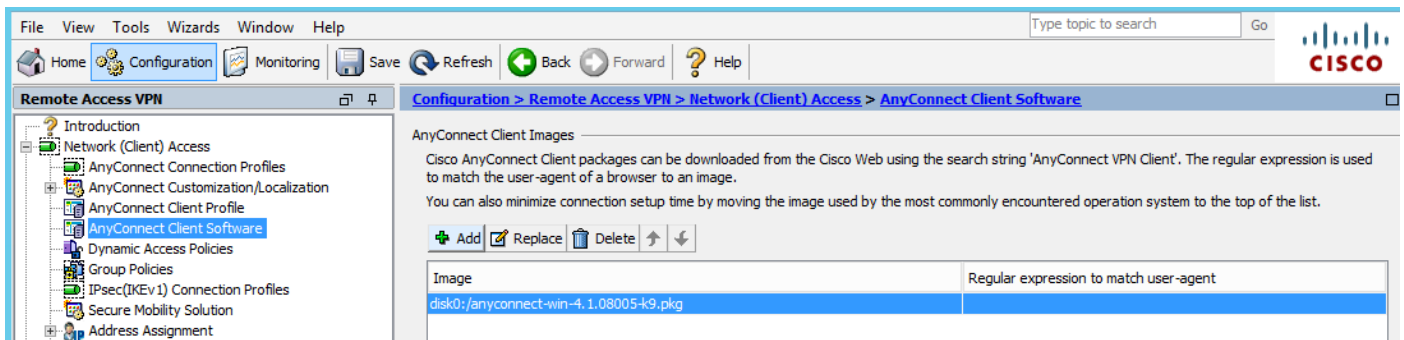
使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

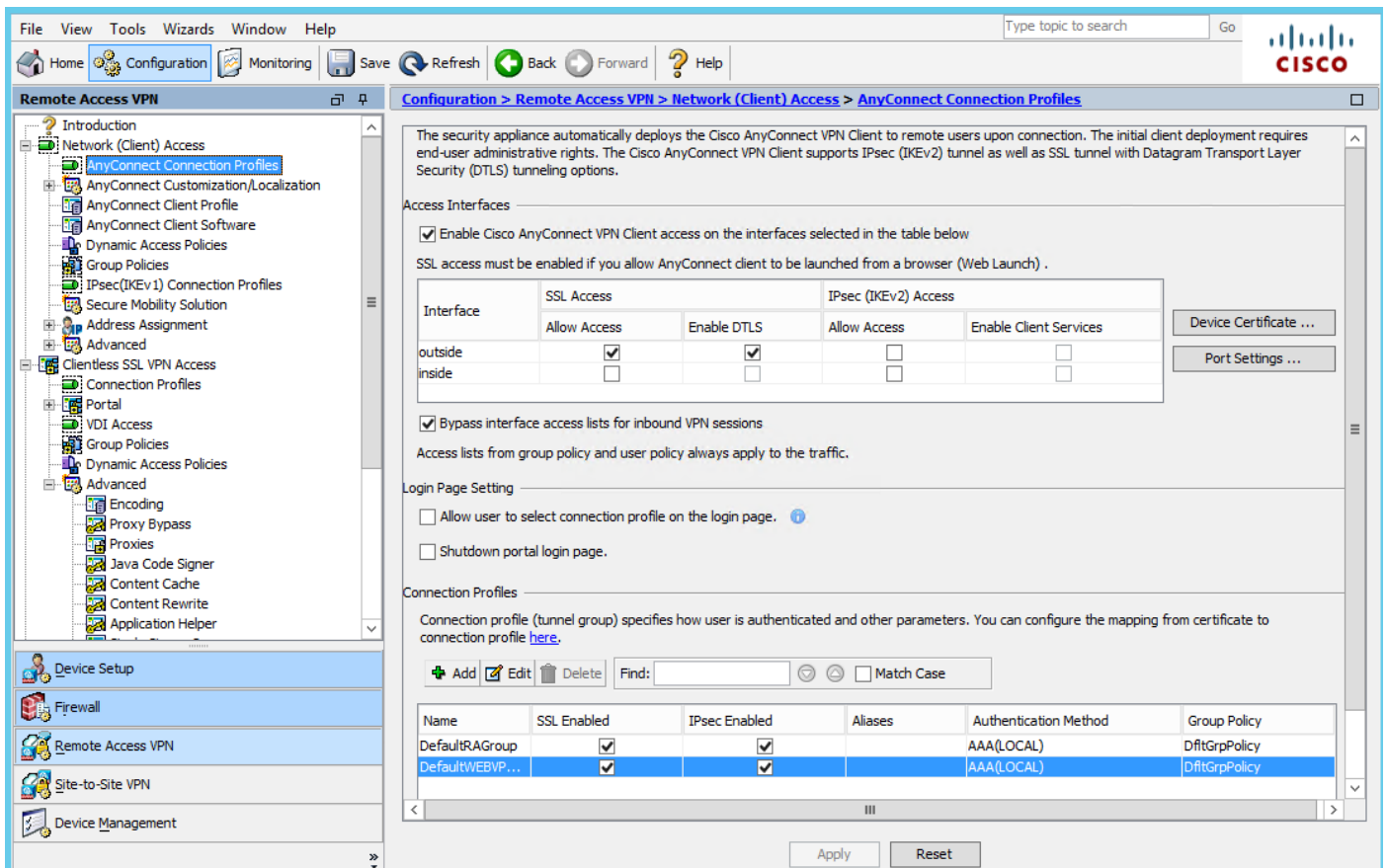
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

- ASA で AnyConnect (v4.1+ を推奨) イメージをアップロードします



- 図に示すように、ASA で VPN プロファイルを有効にします



設定

ASA を通じた AnyConnect Web セキュリティの導入

設定に含まれる手順は次のとおりです。

- Anyconnect Web セキュリティ クライアント プロファイルを設定する
- Anyconnect VPN グループ ポリシーを編集する
- Web セキュリティのスプリット除外を設定し、Web セキュリティ クライアント モジュールのダウンロードを選択する
- Anyconnect VPN グループ ポリシーを編集し、Web セキュリティ クライアント プロファイルを選択する

手順 1 : Anyconnect Web セキュリティ クライアント プロファイルを設定する

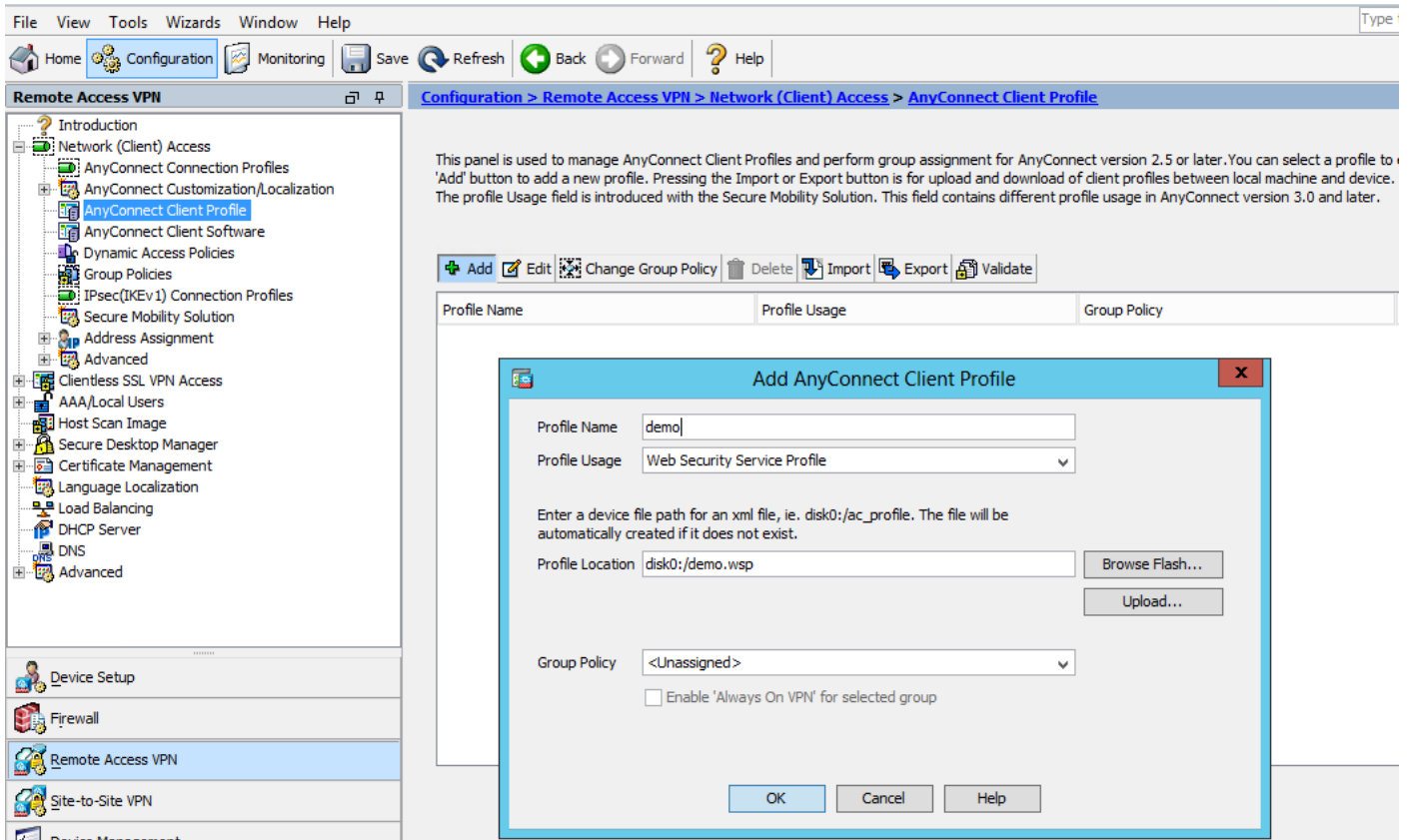
[Configuration] > [Remote Access VPN] > [Network (Client) Access] > [Anyconnect Client Profile]

を選択します。

[Add] をクリックし、[AnyConnect Web Security Client Profile] を選択します。

注：クライアント側の Profile Name はハードコードされているため、設定した名前に関係なく、ASA は常に `Websecurity_serviceprofile.wso` をクライアントにプッシュします。

注：これは、認証ライセンス キーのないデフォルト プロファイルです。



手順 2：新しく作成したプロファイルを編集し、認証ライセンス キーを追加し、設定をカスタマイズする。

AnyConnect Client Profile Editor - demo

Profile: demo

Web Security

- Scanning Proxy
- Exceptions
- Preferences
- Authentication
- Advanced

Scanning Proxy

Scanning Proxy list is currently up-to-date.

Scanning Proxy	Host Name	Plain Port	SSL Port	Display/Hide
UK	108.171.128.156	8080	443	Display
Germany	108.171.129.156	8080	443	Display
France	80.254.150.66	8080	443	Display
Denmark	80.254.154.66	8080	443	Display
Switzerland	80.254.155.66	8080	443	Display
South Africa	196.26.220.66	8080	443	Display

Buttons: Display, Hide, Display All

Default Scanning Proxy: India

Traffic Listen Port

- 80
- 8080
- 3128
- 443

Buttons: Add, Delete

OK Cancel Help

AnyConnect Client Profile Editor - demo

Profile: demo

Web Security

- Scanning Proxy
- Exceptions
- Preferences
- Authentication
- Advanced

Authentication

Proxy Authentication License Key: F90A686F696FF779CB758B69F84A5688 **

Service Password: websecurity

Enable Enterprise Domains

Use: Group Include List

All Domains: [Dropdown]

Buttons: Add, Delete

Custom matching and reporting for machines not joined to domains

Computer Name: [Dropdown] [Text Box]

Custom Groups (optional): [Text Box] [Add] [Delete]

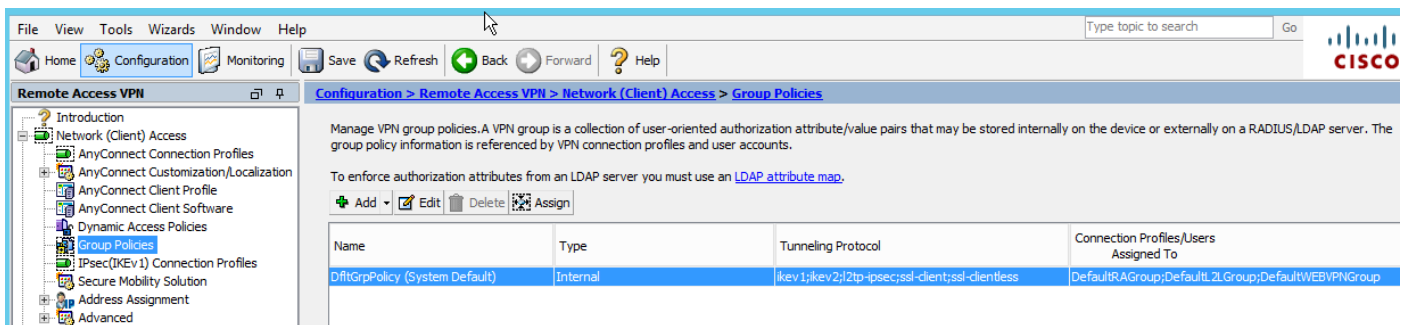
** change requires WebSecurity service restart

OK Cancel Help

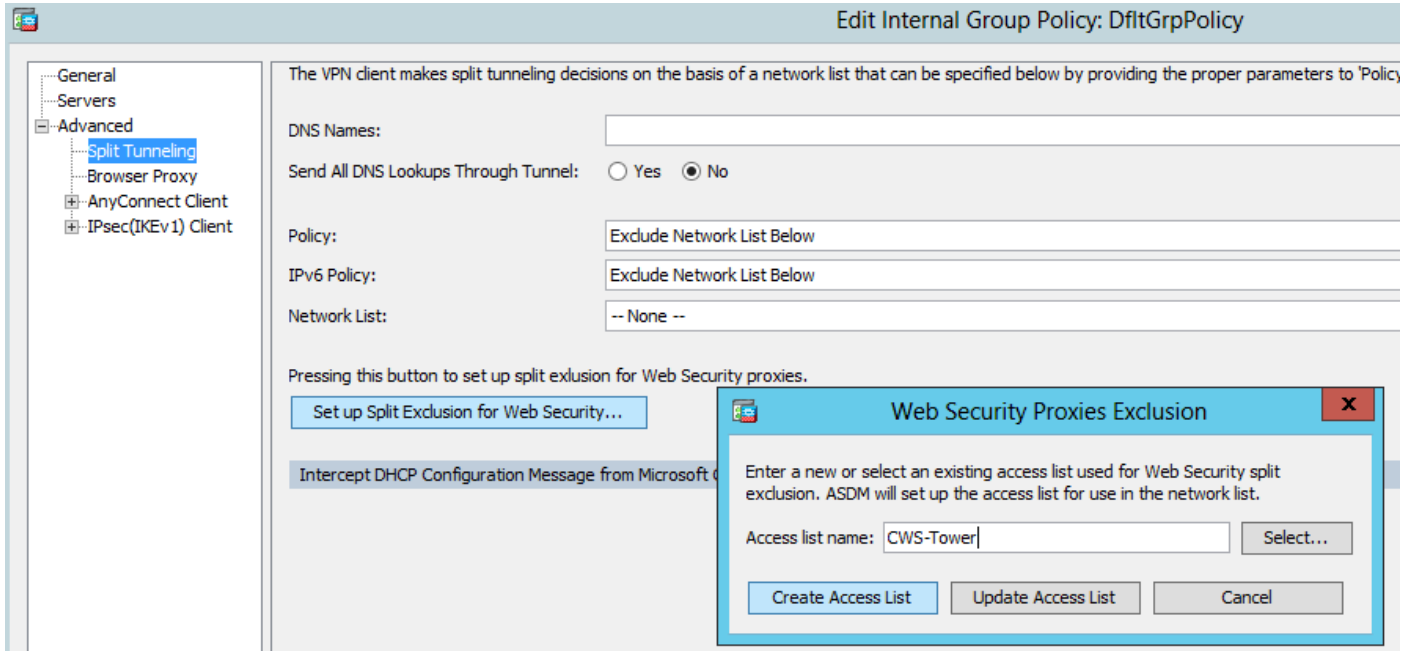


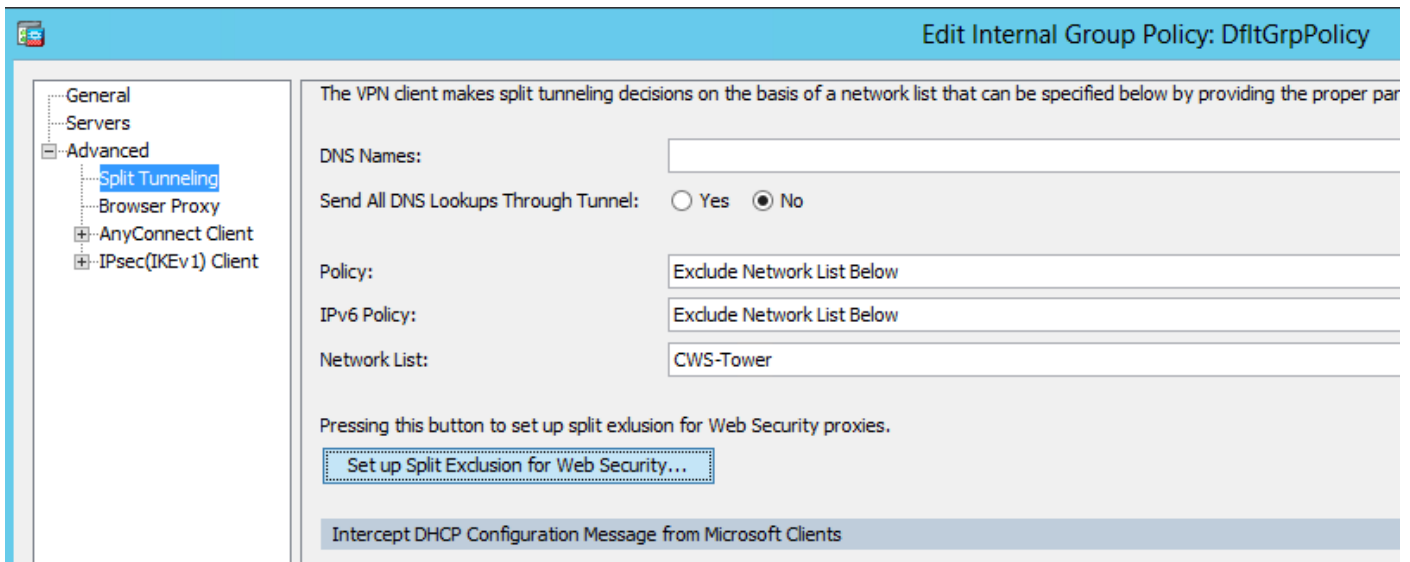
手順 3 : Web セキュリティのスプリット除外を設定し、Web セキュリティ クライアント モジュールのダウンロードを選択する

図に示すように、Anyconnect VPN グループ ポリシーを編集します。



図に示すように、Web セキュリティのスプリット除外を設定します。

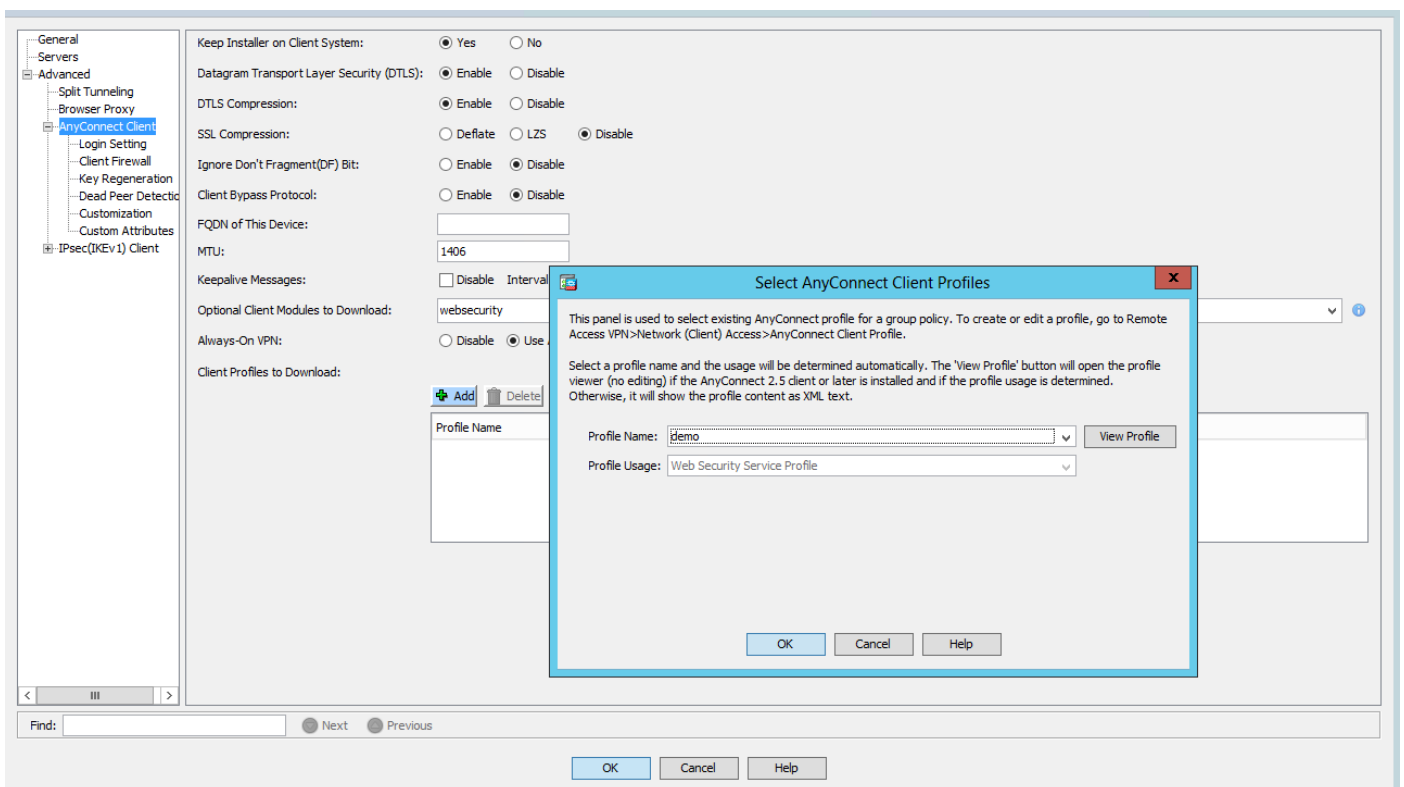




図に示すように、Web セキュリティ クライアント モジュールのダウンロードを選択します。

手順 4 : Web セキュリティ クライアント プロファイルをダウンロードする

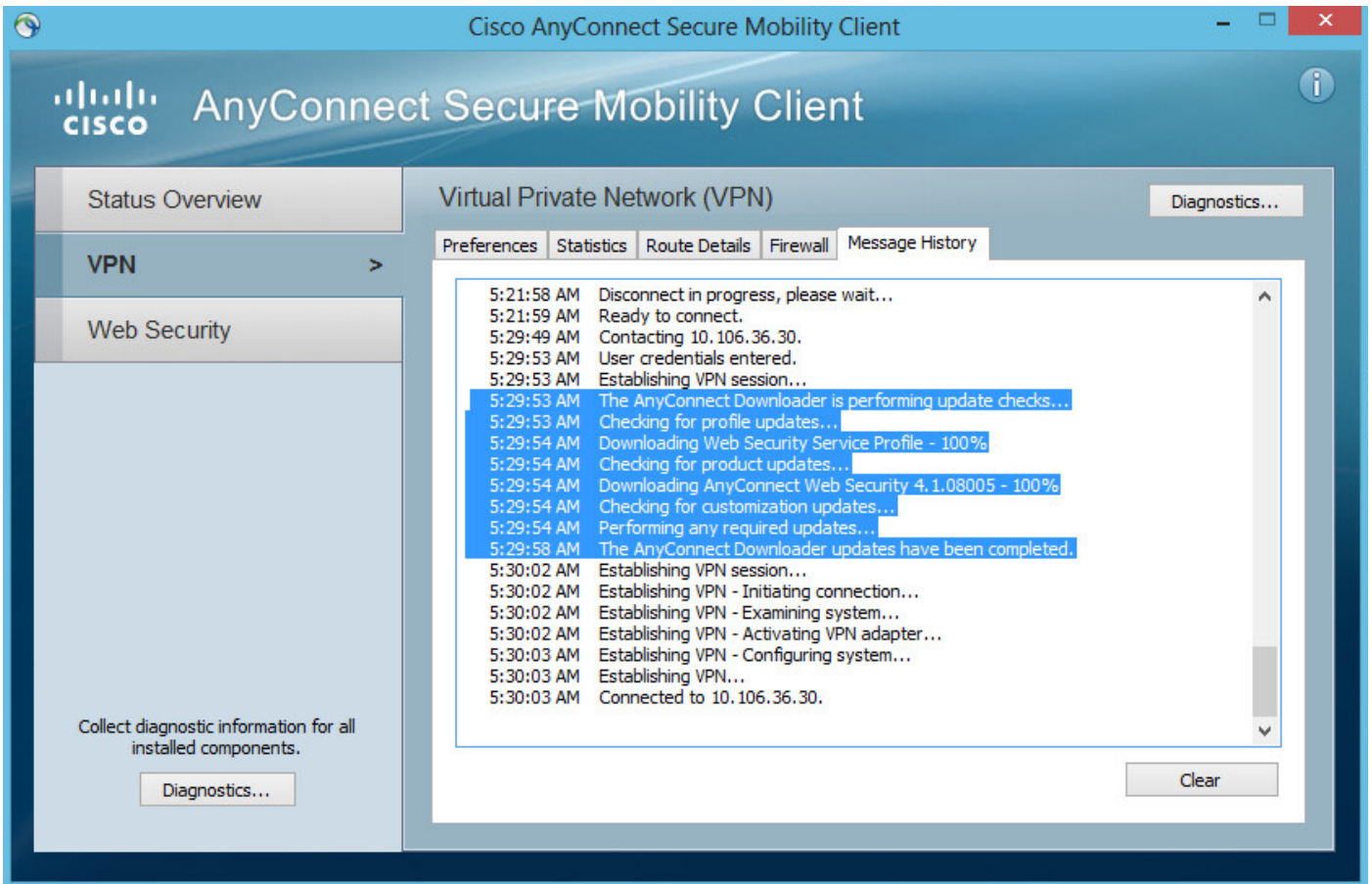
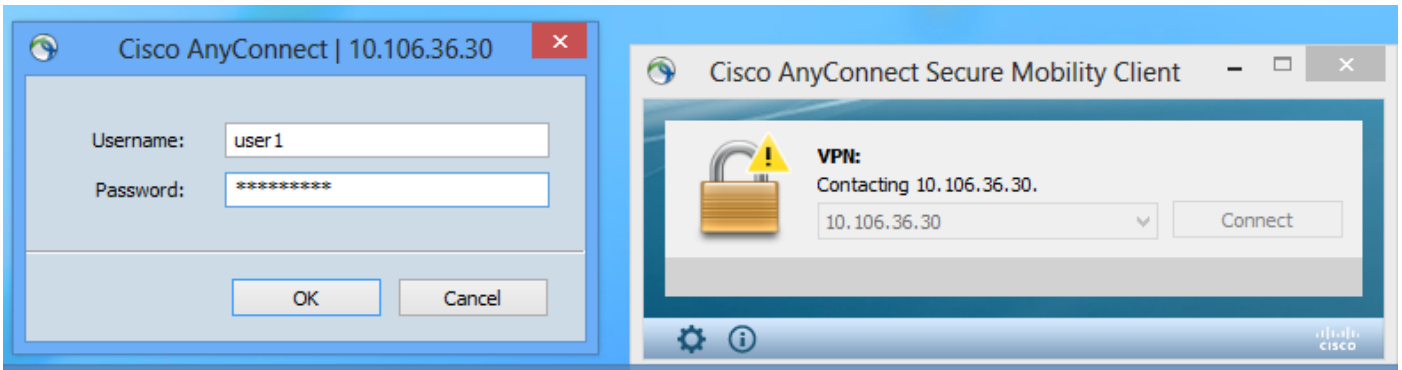
[Anyconnect VPN group policy] > [Client Profiles to Download] > [Add] を編集し、(手順 1 で) 作成したプロファイルを選択します

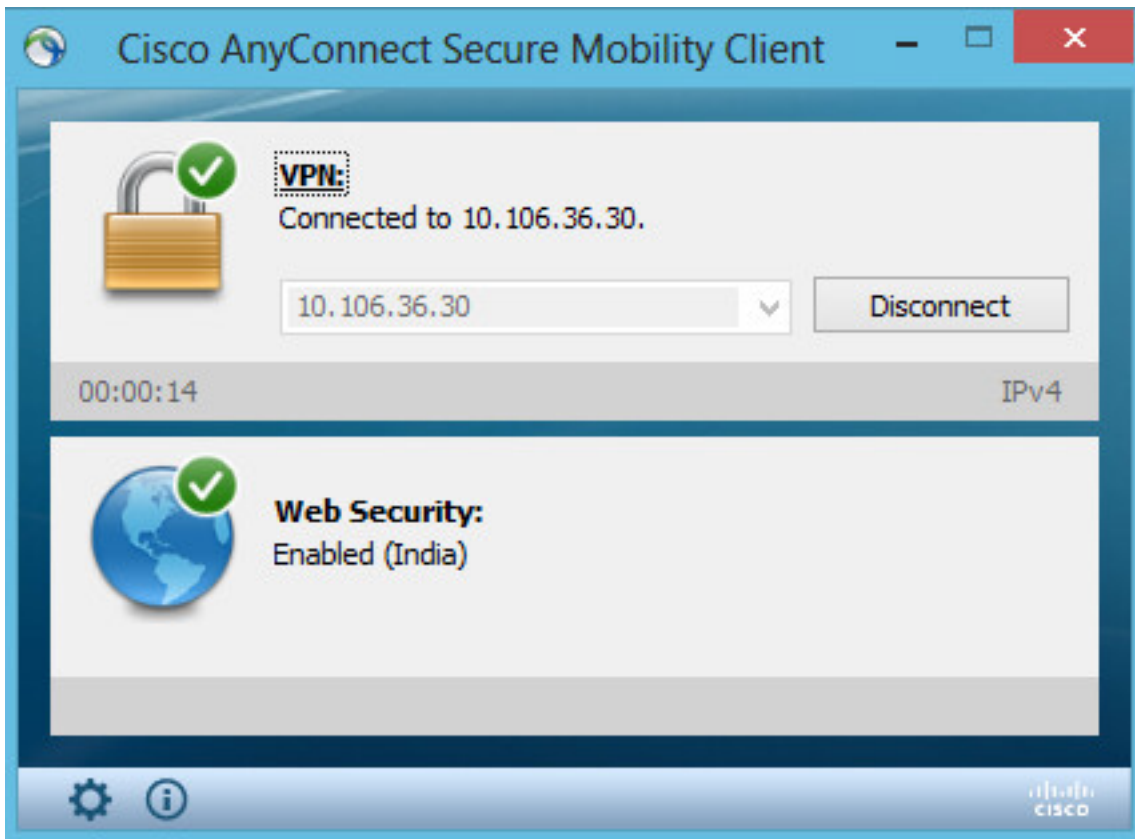


[OK] をクリックし、変更を適用します。

確認

Anyconnect VPN に接続すると、図に示すように、ASA は VPN 経由で、Anyconnect Web セキュリティ モジュールをプッシュします。





すでにログインしている場合、この機能が有効になるよう、ログオフして、ログインすることを推奨します。

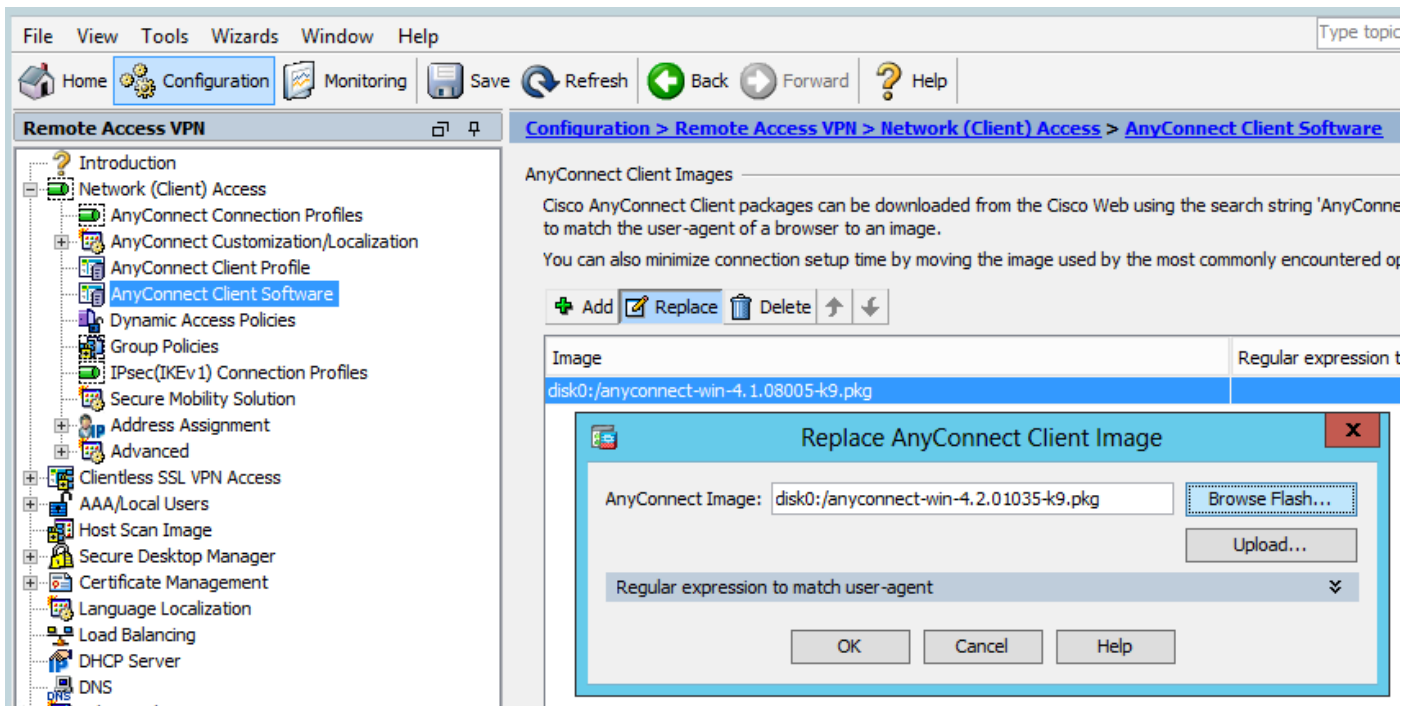
Anyconnect バージョンのアップグレード/ダウングレード

バージョンがアップグレードされた場合、導入機能は変更ありません。ただしダウングレードすることはできません。したがって、4.1.x の現在の例では、バージョン 4.2 にアップグレードできません。

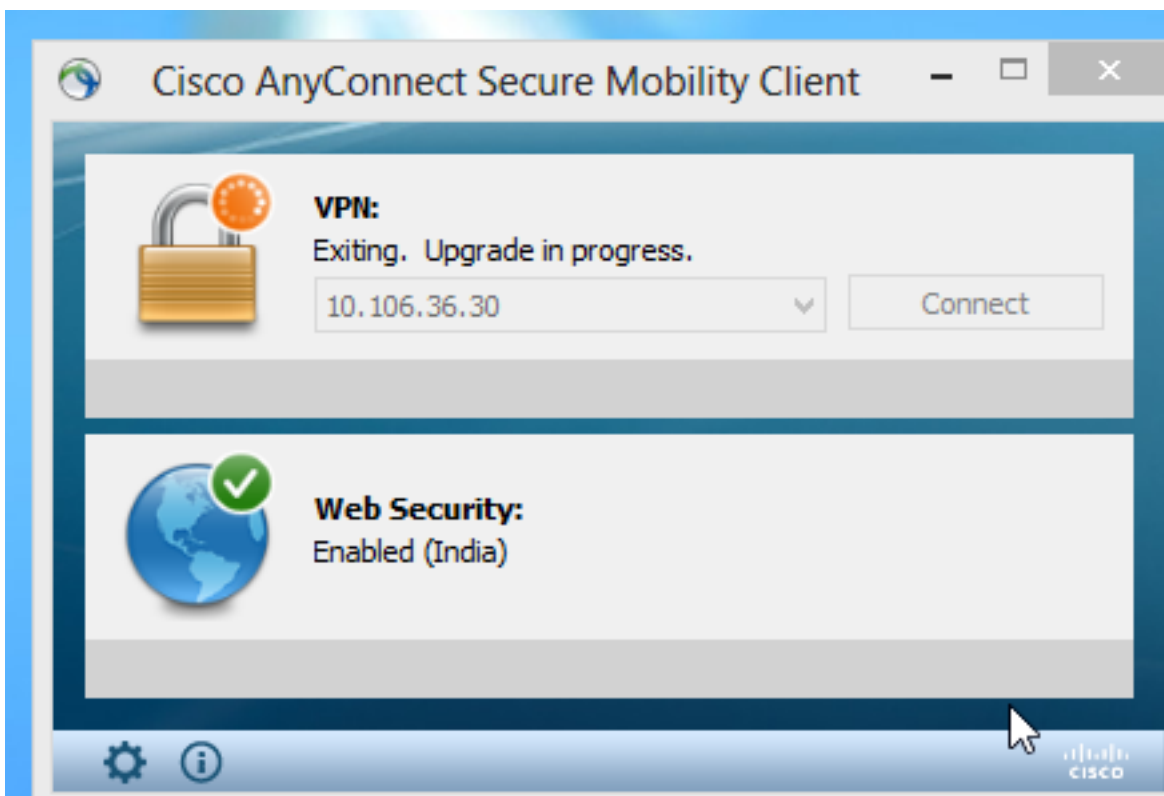
含まれる手順は次のとおりです。

手順 1：最新の Anyconnect パッケージ 4.2 をフラッシュにアップロードし、4.1 を最新のファイルで置き換える。

[Anyconnect Client Software] > [Replace] で最新のイメージ ファイルを選択します。



ステップ 2： Anyconnect VPN に再接続した際、Web セキュリティ プロファイルは変更されず、ASA が VPN 経由で最新の Anyconnect モジュールをプッシュする。



AnyConnect Secure Mobility Client Downloader



The AnyConnect Downloader is installing AnyConnect Secure Mobility Client 4.2.01035. Please wait...

注：ダウングレードはサポートされません。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

DART を使用したトラブルシューティング情報の収集：

DART は AnyConnect Diagnostics and Reporting Tool の略で、AnyConnect のインストールと接続に関する問題のトラブルシューティングに役立つデータの収集に使用できます。DART は、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Mac バージョン 10.5 と 10.6、および Linux Redhat をサポートします。DART ウィザードは、AnyConnect を実行するコンピュータ上で実行されます。これによってログ、ステータス、および診断情報が収集され、それを Cisco Technical Assistance Center (TAC) での分析に使用でき、管理者権限は不要です。

DART は、AnyConnect ソフトウェアのコンポーネントに依存せずに機能しますが、AnyConnect から起動可能で、AnyConnect ログ ファイル (存在する場合) の収集を行います。現在のところ、DART はスタンドアロン インストールを実行できます。または、管理者は AnyConnect ダイナミック ダウンロード インフラストラクチャの一部として、このアプリケーションをクライアント PC にプッシュできます。インストールしたら、[Start] ボタンを通して、Cisco フォルダからウィザードを起動できます。